

山梨県立大学 看護学部看護学科 3つの方針

理念と目的			
看護学部は、人間や社会を看護学の視点から探究する能力、科学的な思考力と倫理的な判断力、専門職業人としての豊かな人間性を兼ね備え、優れた看護実践により地域に貢献できる人材を育成します。			
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）			
育成する人物像	人間や社会を看護学の視点から探究する能力と看護の対象への「科学的知」と「哲学・倫理的知」をもって、看護実践により地域に貢献できる能力を啓発します。さらに、専門職業人としての豊かな人間性を育成します。		
	1) 学問的探究心を持ち、看護学の発展に貢献できる看護実践者 2) 科学的思考と倫理的判断力に基づき、自己の考えや行動を発展させられる看護実践者 3) 看護の対象となる個人や家族、集団、地域社会の健康課題を多角的にとらえ実践できる看護実践者 4) 保健・医療・福祉のチームの一員として、人々と連携し協働できる看護実践者 5) 社会の動向に関心をもち、看護を取り巻く状況への変革を志向できる看護実践者		
学士力		学修成果	測定方法
① 教養を高める力	知識・技能	自然や地域・多様性のある社会への関心をもち、看護の対象となる個人、家族、集団、地域社会を多角的に理解するための基盤を備えている。	・カリキュラムマップにて示す「教養を高める力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「教養を高める力」に係る科目の成績評価
② 看護実践力		人々の健康課題を解決する看護実践に必要な専門的知識・技術を身につけている。	・カリキュラムマップにて示す「看護実践力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「看護実践力」に係る科目の成績評価
③ 援助関係形成力		看護の対象となる人々とのコミュニケーション技術等を身につけている。	・カリキュラムマップにて示す「援助関係形成力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「援助関係形成力」に係る科目の成績評価
④ 探求する力	思考力・判断力・表現力	人々の健康課題や看護について論理的に課題を探求し、解決に向けた取り組みができる。	・カリキュラムマップにて示す「探求する力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「探求する力」に係る科目の成績評価
⑤ 思考力・判断力		看護の対象および地域社会の健康課題解決について、理論や情報に基づいて論理的、総合的に思考し、適切に判断できる。	・カリキュラムマップにて示す「思考力・判断力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「思考力・判断力」に係る科目の成績評価
⑥ 変革を志向する力	主体性・多様性・協調性	社会の動向に関心をもち、自らの創造力や発信力をもって看護を取り巻く状況への変革を志向することができる。	・カリキュラムマップにて示す「変革を志向する力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「変革を志向する力」に係る科目の成績評価
⑦ 連携し協働する力		保健・医療・福祉のチームの一員として、リーダーシップやメンバーシップの精神を持ち協働することができる。	・カリキュラムマップにて示す「連携し協働する力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「連携し協働する力」に係る科目の成績評価
⑧ 自己学修力		自律した看護専門職業人となるために、自己成長を目指して主体的に学ぶことができる。	・カリキュラムマップにて示す「自己学修力」に係る科目の授業評価における学士力到達度及びポートフォリオによる自己評価 ・カリキュラムマップにて示す「自己学修力」に係る科目の成績評価
卒業判定基準	看護学部では、本学の理念と目的に基づき、以下の『学士力』を身に付けていると認められた者に、学士（看護学）の学位を授与する。 1. 全学に共通する「学士基盤力」を身に付けている。 2. 看護学部における「学士専門力」を身に付けている。		
教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）			
<総合性に関する方針> 看護学士課程において学位授与方針に基づく学修成果を身につけるため、看護の基本概念である人間や社会、及び健康に関連した知、看護実践の基盤となる理論や看護実践の向上に関連した知、看護の現象や看護実践の根拠に関連した知、看護を取り巻く倫理的な課題や規範に関連した知を探究する科目および学問のすそ野を広げるための学部教養科目を設定し、それらをカリキュラムに配置します。また、本学の理念でありますグローバルな知の創造から社会の発展に寄与することを目指して、国際性を意識した科目を設置します。			
<順次性に関する方針> 看護学の体系的な学びに向けて、科目履修の順序性を考慮した編成にします。そのため、科目の開講年次と履修条件を設けます。 1年次は、看護の対象である人間や健康および環境を多角的視点から学び、さらに看護実践を支える基盤的学びを深めます。 2年次は、人体に生じる異常とそれを是正する視点と様々な健康課題に対し看護の対象理解と看護の役割・機能・方法を学びます。 3年次は、2年次に学んだ内容を、演習や実習を通してさらに実践的に展開していくことを通して、知識と実践との統合を図ります。また、看護研究の課題の探究を開始します。 4年次は、さらに知識と実践との統合を図り、様々な健康状況にある対象者への看護の専門的役割と実践方法について展開する。これまでの学びを統合したより専門性の高い科目を設置し、自らが設定した看護研究課題の探究とともに看護学の中でのさらなる専門性の志向を可能にします。			
<実施に関する方針> 学部教育に対し、山梨県内から多くの協力を得てフィールドとなる利点を活かし、学部理念である、地域に貢献できる人材育成をめざして地域での学修活動を意識して科目の展開を行っています。各科目では、実務者や当事者、地域住民等の協力およびアクティブラーニングや少人数演習などの教育上の工夫を科目のねらいに合わせて実現できるようにします。			
入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）			
看護学部は、地域に貢献できる優れた専門職業人の育成を目指しています。このために、人間や社会を看護学の視点から探究する能力や看護の対象への「科学的知」と「哲学・倫理的知」をもって看護実践に必要な専門的能力を啓発するとともに、専門職業人としての豊かな人間性を持った人材を育成します。 したがって、高等学校卒業までの学習や生活体験を通して人間や社会への関心をもち、客観的・論理的思考ができ、また自己や他者を尊重できる態度が身についている人の入学を希望します。 看護学部看護学科では、これらの考えに基づき、次のような人を受け入れます。			
(入学前能力) 1. 人間や社会に強い関心がある人 2. 人を尊重し、よりよい人間関係を築こうとする人 3. 客観的・論理的思考ができ、自分の考えや感じたことをわかりやすく表現できる人 4. 主体的な学習態度と基礎学力が身についている人 5. 看護に強い関心がある人 6. 卒業後、山梨県内の保健・医療・福祉分野に就業する強い意志を有する人〔学校推薦型選抜及び特別選抜（社会人選抜）〕			
(入学後能力) 人間や社会を看護学の視点から探究する能力と看護の対象への「科学的知」と「哲学・倫理的知」をもって、看護実践により地域に貢献できる能力を修得してください。さらに、専門職業人としての豊かな人間性を伸ばしてください。			
(評価方法) 入学者選抜においては、多様な人材を選抜し、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協調性を測定するために、一般選抜・学校推薦型選抜・特別選抜（社会人選抜）を実施します。 一般選抜においては、「大学入学共通テスト」、「小論文」、「調査書と自己評価書と面接により多面的・総合的に評価する科目」により評価します。 学校推薦型選抜・徳悦選抜（社会人選抜）においては「小論文」、「調査書と自己評価書と面接により多面的・総合的に評価する科目」により評価します。※卒業後に山梨県内の保険・医療・福祉分野に就職する強い意志を有すること。			